

第5章 数値目標

数値目標の設定

1 数値目標の設定目的

多様な団体や機関が食育の推進を図ることにより、基本理念の実現を目指すため、それぞれの取り組みや施策について数値目標を設定し、進捗管理を行います。

また、数値目標を設定することで、取り組みの効果の評価指標とし、取り組みの見直し等につなげていくことが数値目標を設定する目的です。

2 数値目標の設定

第3次島原市食育推進計画の施策及び取り組みの効果を評価するため、次の20項目について数値目標を設定することとしました。

施策	数値目標項目	現状値 (R1)	中間目標 (R4)	目標値 (R6)	
1	食育に関心のある人の増加	74.9%	85%以上	90%以上	
	食育の取り組み活動に参加する人の増加	13.2%	15%以上	18%以上	
2	家庭で郷土料理を作る人の増加	75.1%	77%以上	80%以上	
3	生活習慣病予防のために行動を実践している人の増加	65.0%	70%以上	75%以上	
	小学5年生の「朝食を毎日食べる」人の増加	90.4%	92%以上	95%以上	
	中学2年生の「朝食を毎日食べる」人の増加	88.4%	92%以上	95%以上	
	市民の「朝食を毎日食べる」人の増加	84.0%	87%以上	90%以上	
4	朝食の摂取についての情報を提供する	—	3回以上	5回以上	
5	学校・保育所・認定こども園での野菜等の栽培体験活動の実施の増加	83.0%	86%以上	90%以上	
	学校・保育所・認定こども園での料理体験の増加	85.4%	87%以上	90%以上	
	食品ロス削減について「作りすぎない」人の増加	75.6%	78%以上	80%以上	
	食品ロス削減について「野菜の廃棄を少なくする工夫」に取り組む人の増加	62.9%	66%以上	68%以上	
6	アレルギー表示を確認する人の増加	12.9%	15%以上	18%以上	
	食事の前に手洗いをする市民の増加	66.9%	70%以上	72%以上	
7	生産者と消費者の交流に関心がある市民の増加	27.9%	30%以上	33%以上	
	学校給食における市産品の使用重量割合の増加	29.1%	32%以上	34%以上	
	地産地消に取り組む市民の増加	52.2%	55%以上	57%以上	
8	1週間当たりの朝食と夕食共食の回数の増加	小学生	10.2回	11回以上	12回以上
		中学生	11.0回	11.5回以上	12回以上
	週に10回以上共食の機会がある市民の増加	58.7%	62%以上	64%以上	